

	<b>学校だより No.13</b> 青森市立佃小学校 令和4年2月28日発行 ◆教育目標◆ あかるく・かしこく・たくましく	全校児童数464名 男子 222名 女子 242名

## 「晴（ハレ）」 と 「褻（ケ）」

校長 山田 彰利

「晴（ハレ）」と「褻（ケ）」。ご存じのように、民俗学者の柳田國男氏が述べたものです。日本人は古来、冠婚葬祭などの行事を行う日を、非日常的なものとして「晴（ハレ）」の日、それ以外の日常を「褻（ケ）」の日と、区別していたというものです。

「晴（ハレ）」の日には、「晴れ着」を着たりごちそうを食べたりして、特別な日をお祝いします。「晴れ晴れ」「晴れ姿」など、晴れの日のお気持ちが表れている言葉もありますね。

一方「褻（ケ）」の日には、普段通りの生活をしますが、この「褻（ケ）」の生活がうまくいかなること（病気や死）を「ケガレ」と言い、おはらいやお清めをして「ケガレ」を落としていたのだそうです。（ちなみに私は、「けの汁」とは、日常的に食する汁物だから「けの汁」と言うのだ、と最近まで信じていました。実際は「粥の汁」から来ているらしいです。）

さて、「晴（ハレ）」と「褻（ケ）」のような切替えができるのは、日本人のよさだという人もいます。普段はリラックスしていても、ある場面になったら集中して取り組む。「けじめ」といってもよいかもしれません。本校の子供たちも、全校朝会で私の話を聞く姿勢・態度にしっかりけじめがついてとても立派になりましたし（12月から行えてませんが）、授業中でも、担任の先生のちょっとした合図や一言で、姿勢がピツとなる、切りかえ上手な子がたくさんいます。

3月には、一番の「晴れ」舞台、卒業式があります。6年生はこれまでの成長をかみしめ、感謝の気持ちをもちながらバトンを渡す、1～5年生は、6年生に感謝の気持ちをもつとともに、来年の自分に向けて自負をもつ、こうした姿を目指す一ヶ月です。コロナ禍で様々な制限の下ではありますが、笑顔で「晴れ」の日を迎えられるよう、教職員一同、一日一日を大切に力を尽くして参ります。どうぞよろしくお願ひします。



## ■ 令和4年度 4月からの佃小学校 その2

先月の「①二学期制の継続、②3学年以上での一部教科担任制の導入」に続く第二弾です。

### ③ 複数担任制の導入

- 自分のクラスの先生だけが担任。ではなく、学年の先生はみんな自分の学級の担任となります。複数の目で多面的・総合的に子供たちを見取ります。子供たちにとっても相談したり頼ったりする相手が複数できることで、学校生活に安心感をもたらします。

### ④ 異学年活動の充実

- 場所や内容がマンネリ化しがちだった全校遠足をなくし、代わりに異学年との交流活動を積極的に取り入れます。これまでの縦割り班活動以外にも、工夫して実施します。